

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 385

発生場所	階段	精神・意識障害の有無	リスク B. 物の性能のリスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所 (その他)		無	
関連したもの	手すり	発生内容の分類	
		挟み込み	

発生内容

セラピー中の発生事例。設置されていた手すりを握った際、下部のくぼみ部分に指先が入り込んだが、それに気が付かず指先が抜けきらない状態で移動したため、ひねってしまい指先を擦過した。

概要

階段・廊下に設置された「手すり」は、下部に「くぼみ」が入った構造であった。手すりを握ったとき、指先のサイズにもよるが、そのくぼみ部分に指先が入り、抜けにくくなる事がある。今回の事例は、セラピー中の移動の際、手すりを使ったときに発生した事例。手すりをつかんだ際、たまたま指先がはまった状態になったが気が付かず、抜けなかったため、指先をひねり受傷してしまった。

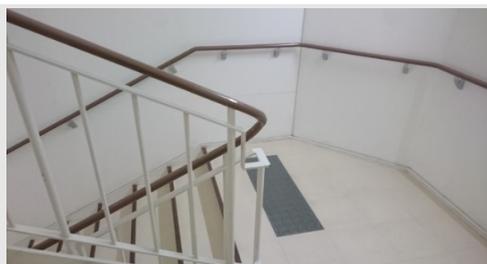
要因

「手すり」の構造自体の問題

対策

館内に設置された手すり全部に対して、下部のくぼみ部分に直径の合うチューブを入れ込み、指先自体が入り込む隙間を無くすことより、同様の事例が二度と生じないよう再発防止に努めた。

参照



Photo① 階段踊り場



Photo② 手すり下部構造 (チューブ挿入済)